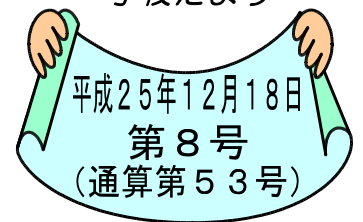


風と緑と太陽

尾張旭市立城山小学校
学校だより



ケータイ安全教室 —子どもをトラブルから守るために—

校長 岡田 龍二

携帯電話は便利なものです。外に出かけているときに、急用があってもすぐに電話やメールを使って連絡がとれます。また、スマートフォンはパソコンなみの機能を持ち、どこにいても豊富な情報をやり取りすることができます。

今の子どもたちは、どれくらいの子が携帯を持っているのでしょうか。きっと以前に比べ、携帯を初めて持つ年齢が低下していることと思います。便利さや安全面を考慮してお子さんに持たせることは、各家庭でのお考えで決めていただくことですが、使い方を誤ることによって生活が乱れたり、人に迷惑をかけたり、犯罪に巻き込まれてしまったりすることがあります。子どもが被害者にも加害者にもなってしまふことが心配されます。

そこで、学校では今年度5、6年生を対象にして「ケータイ安全教室」を開き、講師の方にルールやマナーなど正しい使い方を教えていただきました。携帯をすでに持っている子もいれば、まだの子もいますが、後から子どもたちが「知らなかった」「教えてほしかった」ということにならないように教室を開きました。



「ケータイ安全教室」の内容 [ルールやマナー]

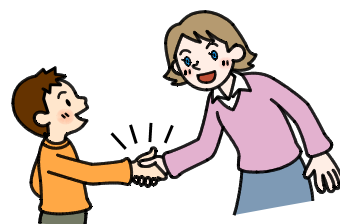
- ・ 歩いたり自転車に乗ったりしながら使わない。
- ・ 勝手に写真を撮らない。(知らない人、店の雑誌、美術館の絵・・・)
- ・ うそや悪口などを書き込みしない。(ブログ、掲示板)
- ・ 勝手にダウンロードしない。(音楽、映像)
- ・ インターネットに個人情報を書きすぎない。(名前、写真、アドレス、住所・・・)
- ・ インターネットで知り合った人に会いにいかない。
- ・ チェーンメールは他の人に送らない。知らない人からのメールは開かない。

ご家庭では、

- ・ 持たせる前に、携帯を扱う時間や上限金額などの約束事を決めてください。
- ・ 約束を守れなかったときのルールも決めてください。
- ・ フィルタリング (アクセス制限) を必ずしてください。
- ・ メール受信・拒否設定をしてください。不要なメールを防ぐことができます。

後になって後悔しないよう、子どもも保護者の方も携帯のよくない面や危険な面を知ったうえで使用していただきたいと思います。

人権週間



12/4~12/10

12月4日から10日までは、「第65回人権週間」でした。

本校でもこれに合わせて、＜人権に関する道徳の授業＞、＜学校集会での校長先生のお話＞、＜人権に関する標語募集＞等に取り組みました。

学校生活の中で一番身近に考えることのできる人権の問題は、いじめのことだと思います。

やっている方にはまったくその気はなくても、受ける方が苦痛を感じれば、それはいじめにつながります。ましてや1人に対して大勢で向かうことになれば、その子の心の中はどんなに苦しいことでしょうか。みんなのまわりには、そんなことはありませんか。

ご家庭でも、ぜひ一度、お子さんといっしょに人権についてのお話をしてみてください。

＜いじめ防止標語コンテスト応募作品より＞

城山小 いつもあかるく いじめなし (5年)

自分では 遊びのつもり 大まちがい (5年)

その言葉 心に深い きずがつく (6年)

避難訓練

12月4日に、延期になっていた地震避難訓練を行いました。今回は、20分放課に地震が起きたと想定して、避難しました。

放送が入ると、教室にいた子どもたちは机の下に入り、自分の体を守りました。運動場にいた子どもたちは、校舎から離れて運動場の真ん中に避難しました。

実際に地震が起きたとき、放課中で担任の先生が近くにいないこともあると思います。「自分の命は自分で守る」ことができるようにしていきたいものです。



赤い羽根募金

福祉委員会が中心になって行った赤い羽根募金運動で、3日間合計で、

38,232円

の善意が集まりました。

ご協力ありがとうございました。